

## 第14回カトリック召命チーム会合議事録

日時：2011年4月9日（土）16:00-18:00

場所：イエズス会管区長館（岐部ホール）310号室

\* 始めの祈り

\* この会の目的の確認

\* 召命についての意見交換

- ・ 召命概念の幅広さ
  - ・ 神の人々への呼びかけ・・・すべての人に（キリスト者と非キリスト者）
  - ・ 神が使命のために、ある特定の人に協力を求め、呼びかけること
    - ・ 司祭の召命
    - ・ 修道者（女）の召命
    - ・ 信徒の召命
  - ・ 召命に応じている人たち（神学生・修道志願者）の養成・・・
  - ・ 召命の発掘
  - ・ 子供の召命を育てる環境作り
- ・ 召命とは
  - ・ 神の呼びかけ
  - ・ 神の呼びかけに気づき応えること
  - ・ 神の恵みと人間の自由の神秘・・・この二つの合一が召命の実りになる
  - ・ 召命は聖霊の働きである
- ・ 召命への取り組み
  - ・ 召命に応えるに人間を、これまで心理学、人間科学的視点から分析してきた・・・不完全さを感じる。
  - ・ 今日、召命を霊的視点からアプローチするようになっている。
- ・ 召命の芽生え・・・召命を実感するために
  - ・ イエスとの出会いの体験
  - ・ イエスに愛されている体験
  - ・ イエスに癒された体験
- ・ 召命のあり方の違い
  - ・ 人によって種々の召命があり得る・・・個々人の召命がある。
  - ・ 司祭、修道者（女）、信徒の召命は異なっている・・・使命・役割・目的が違う
    - ・ 司祭の召命・・・キリストの似像・・・キリスを映し出す鏡・・・キリストを現存させる。
    - ・ 修道者の召命・・・自分たちのカリスマに従って、キリストを生きる。
    - ・ 信徒の召命・・・自分の生活の場（家庭、職場など）、日常の場でキリストに生きる。
- ・ 司祭・修道者の召命の妨げ
  - ・ 現代のPAF（平和、豊かさ、自由）が召命を困難にしている・・・世俗化の波が大きい。
  - ・ 司祭の魅力、修道者の魅力が不足、欠如
    - ・ 司祭のイメージ・・・俗人、おっさん（以下）、霊性を感じない、わがまま、強引、権威主義、上昇志向、変人、人と共に歩めない、人に聴けない・・・
    - ・ シスターのイメージ・・・おばあさん（意地悪）、ひがみっばい、怒りっばい、悪口、
  - ・ 教会が若者を招く限り、召命はない・・・嫌がり逃げるだけ・・・若者自身が教会を求めようにならないと召命は生まれない。
    - ・ 教会の魅力・・・

- ・若者たちの価値観の転換・若者たちにそうさせる魅力が不可欠
- ・召命を促進するために
  - ・司祭、修道者の霊性の再構築（強化）・みんなが座禅すれば世界に平和がくる・
  - ・司祭が尊敬される姿に生きること
  - ・司祭の「命がけの意気込み」が不可欠・司祭はすばらしいということを示すこと。
  - ・子供たちを教会に親しませる・
  - ・教会が一丸となって召命を考え、それぞれの召命に生きることが不可欠
  - ・教会全体の活気が不可欠・ナイスⅢとの協力
  - ・修道会が自分たちのカリスマを現代と未来に即した物への広げる必要がある。
- ・今回の地震が与える影響と召命
  - ・日本人の価値観が変わるはず・物中心の見方が変わるのでは
  - ・物質主義への反省と霊的価値への転換が行われるのではないか
  - ・種々の宗教家が働いている・宗教への見直しがあり得る・
  - ・福島原発のため、50歳代の人が志願して、命をかけている・日本人の心が分かる
- ・この会は召命促進の為に何が出来るか
  - ・種々の修道会をインターネットを通して紹介し、召命に応えやすくする。
  - ・信徒たちがもっと、司祭・修道者（女）を応援し、その素晴らしさを子供たちに伝える。
  - ・司祭、修道者たちが、自分の召命について子供たちに教える・何故、この道を選んだか

## まとめ

召命とは・キリストからの招き（呼ばれています、いつも）  
 聖霊の助け  
 三位一体の神の派遣の延長

- ・共通の召命・全てのキリスト者の召命
  - ・キリストの呼びかけ・全ての人・特別の人
  - ・キリストに出会い、愛され、癒される体験
- ・個別的召命（特別召命）
  - ・司祭の召命・キリストをここで現存させる・キリストの似像、キリストを映す鏡
  - ・修道者の召命・カリスマに生きる
  - ・信徒の召命・生活の現場でキリストに生きる
- ・共通の召命から個別的召命へ
  - ・召命の活性化・
    - ・信徒の召命の活性化・信徒の使命とキリストとの出会い
    - ・修道者の召命の活性化・現代と未来を適合するカリスマへと変革
    - ・司祭の召命の活性化・司祭の魅力の回復・尊敬される司祭へ  
 霊性の再構築、人間性の成熟、知的能力を高揚
  - ・召命の養成
    - ・子供の召命開拓・教会への親しみ・教会内での役割・召命の環境作り・家庭と祈り
    - ・修道者（女）の養成
    - ・司祭の養成